第５章　認知症と成年後見制度等

1　認知症

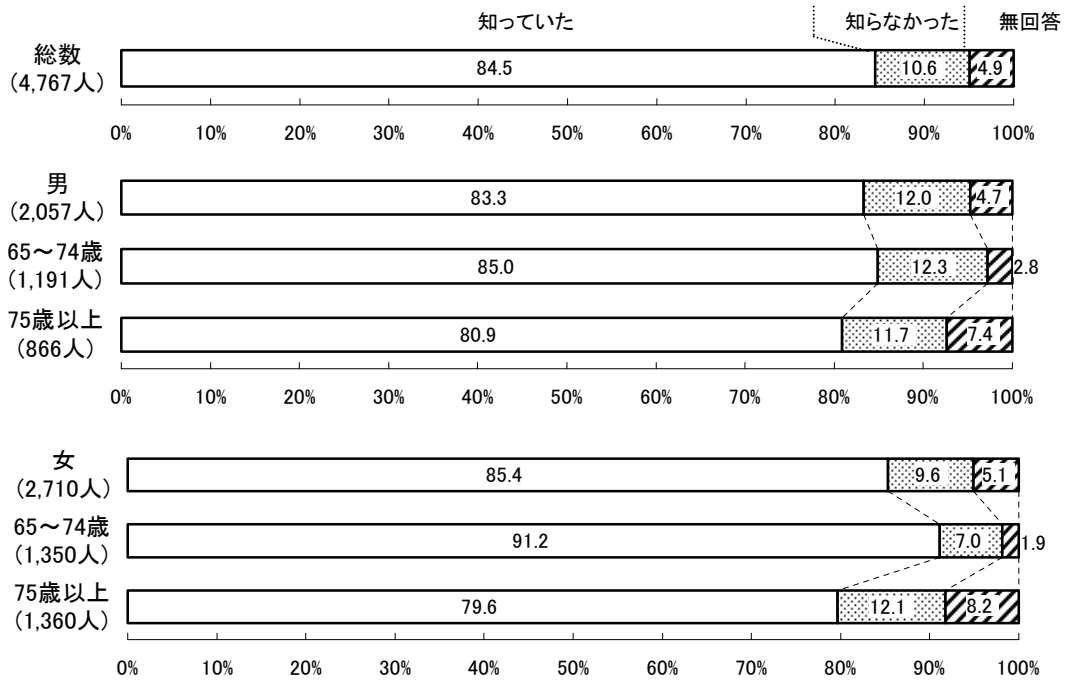
(1)　認知症に関する理解度①－性・年齢階級別

「知っていた」割合は、女性 65～74 歳では約 9 割

認知症に関する知識について聞いたところ、「知っていた」の割合は 84.5%であった。特に女性 65～74 歳では 91.2%で、約 9 割となっている。(図 5-1)

問　認知症は脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する誰もがかかる可能性のある病気であり、早期に医療機関の受診が必要であることを知っていますか

図 5-1　認知症に関する理解度①－性・年齢階級別



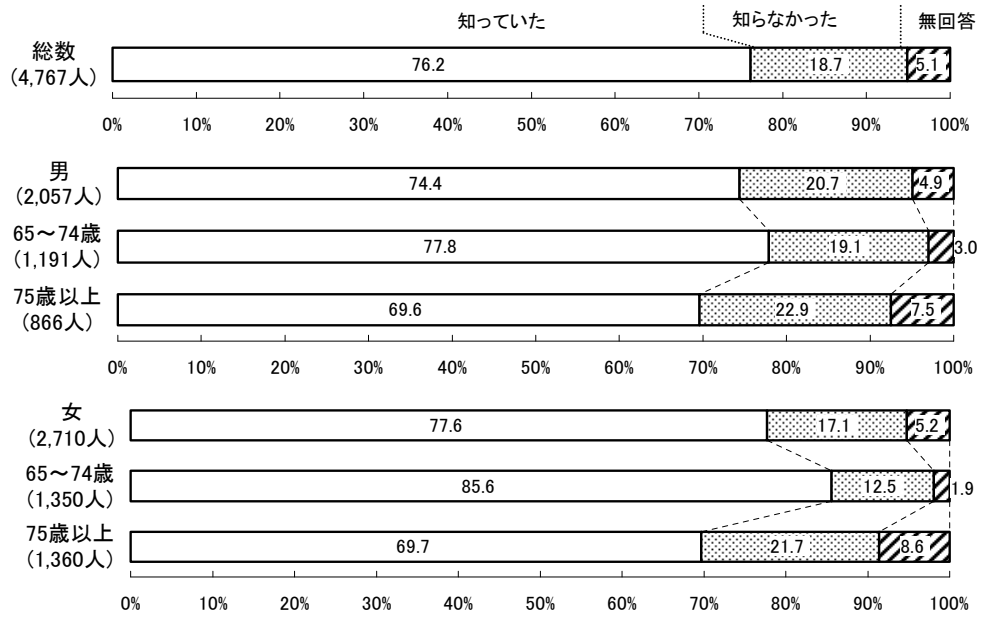
(2)　認知症に関する理解度②－性・年齢階級別

「知っていた」割合は、女性 65～74 歳で 85.6%

認知症に関する知識について聞いたところ、「知っていた」の割合は 76.2%であった。特に女性 65～74 歳では、85.6%となっている。(図 5-2)

問　認知症になると何もわからくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保持されるため、本人は多くの不安や混乱を抱えることを知っていますか

図 5-2　認知症に関する理解度②－性・年齢階級別



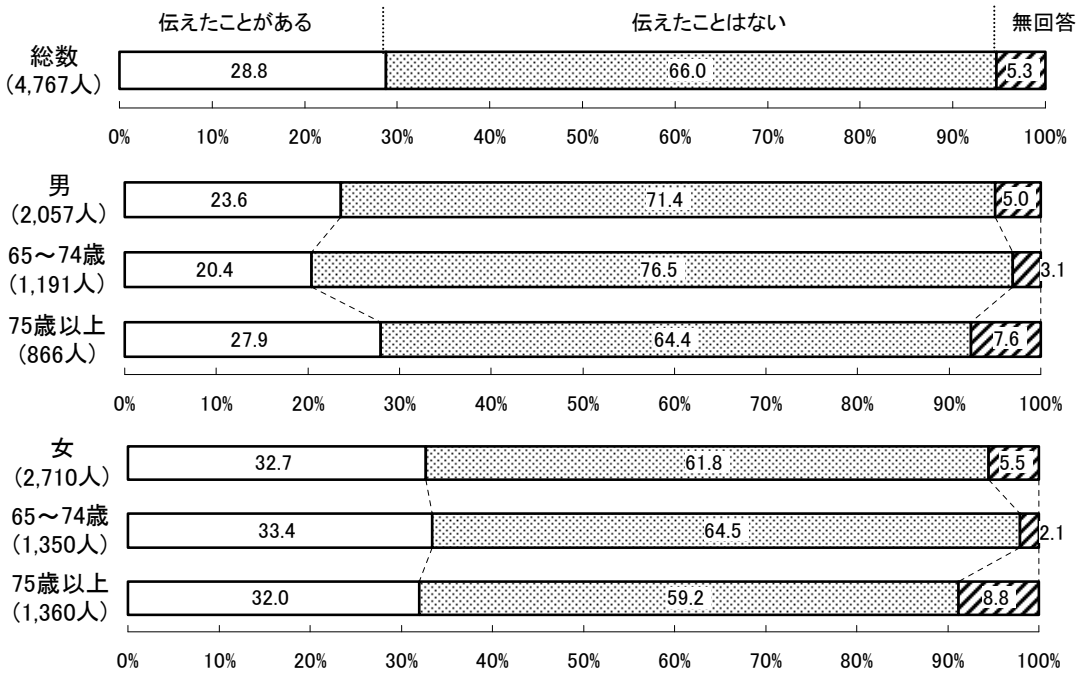
(3)　認知症に関する対応①ー性・年齢階級別

「伝えたことがある」割合は、女性が約 3 割

認知症になった場合の備えについて聞いたところ、「伝えたことがある」の割合は 28.8%となっている。性別で見ると、「伝えたことがある」の割合は、男性 23.6%、女性 32.7%で、女性の方が 9.1 ポイント高くなっている。(図 5-3)

問　あなたは認知症になった場合に備えて、希望する暮らし方や財産管理について誰かに伝えたことがありますか

図 5-3　認知症に関する対応①ー性・年齢階級別



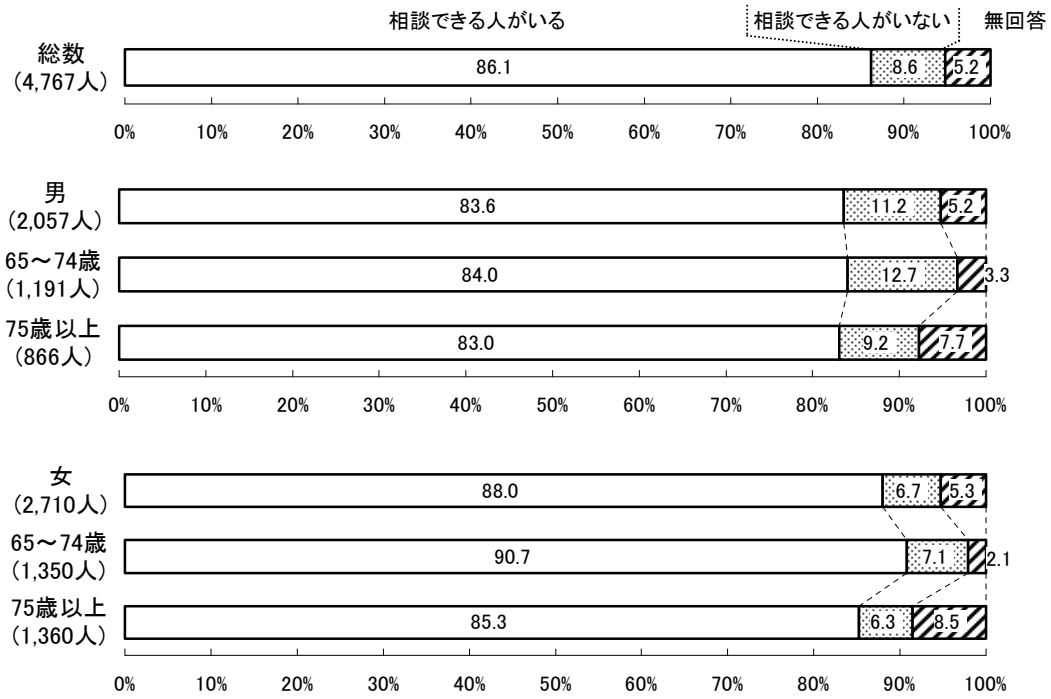
(4)　認知症に関する対応②－性・年齢階級別

「相談できる人がいる」割合は、男女とも 8 割超

認知症に関する対応について聞いたところ、「相談できる人がいる」の割合は 86.1％であった。性別で見ると、「相談できる人がいる」割合は、男性 83.6％、女性 88.0％で、男女とも 8 割を超えている。(図 5-4)

問　あなたがご自身の記憶力・判断力・理解力の低下を自覚し、日常生活に不安を感じた場合、相談できる人がいますか

図 5-4　認知症に関する対応②－性・年齢階級別



(5)　認知症に関する講座等への参加意向及び希望する講座内容

「参加したい」割合は、約 3 割

認知症に関する講座等への参加意向を聞いたところ、「参加したい」は 31.8%、「参加したいと思わない」は 63.1%となっている。(図 5-5)

参加したいと回答した人（1,518 人）に、希望する講座内容を聞いたところ、「認知症についての医学的知識」の割合が最も高く 69.5%、次いで「認知症になった場合に利用できる制度」が 68.6%となっている。(図 5-6)

問　認知症について学ぶ講座や学習会が、お住まいの地域や職場で行われた場合、参加したいと思いますか。

図 5-5　認知症に関する講座等への参加意向

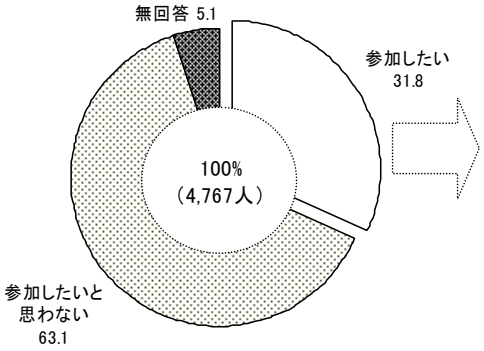
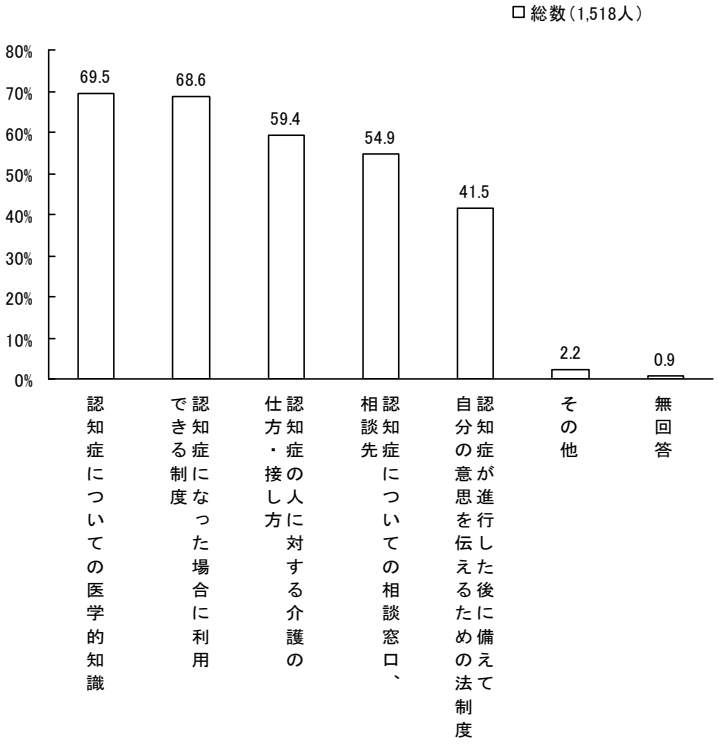


図 5-6　希望する講座内容



2　成年後見制度及び日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

(1)　成年後見制度の認知度－性・年齢階級、動作能力類型、成年後見制度の利用意向別

「知っている」割合が 35.9%、「知らない」割合が 35.5%

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「知っている」割合が 35.9%、「知らない」割合が 35.5%となっている。

「知っている」割合は、年齢階級別に見ると 65～74 歳が 40.4%、動作能力類型別に見ると、障害のない高齢者が 41.7%で、それぞれ最も高くなっている。

また、成年後見制度の利用意向別に見ると利用したいと考える人は、制度を「知っている」人の 51.9%で、5 割を超えている。(表 5-1)

問　「成年後見制度」と「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業)」についてお伺いします。あなたはこれらの制度を知っていましたか。

表 5-1　成年後見制度の認知度－性・年齢階級、動作能力類型、成年後見制度の利用意向別

		総数	知っている	中身は知らないが、言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	35.9	23.4	35.5	5.2
性別	男	100.0 (2,057)	36.4	24.0	35.2	4.4
	女	100.0 (2,710)	35.5	22.9	35.8	5.8
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	40.4	25.1	32.1	2.4
	75～84歳	100.0 (1,761)	32.9	23.2	38.3	5.6
	85歳以上	100.0 (465)	22.8	14.4	43.7	19.1
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	17.2	14.0	32.9	35.9
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	26.9	23.5	44.1	5.5
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	31.1	25.7	39.6	3.6
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	41.7	23.8	33.3	1.2
成年後見制度の利用意向別	利用したい	100.0 (395)	51.9	22.0	25.8	0.3
	利用したいと思わない	100.0 (2,309)	46.4	23.8	29.8	0.1
	既に利用している	100.0 (13)	92.3	－	7.7	－
	わからない	100.0 (1,794)	23.2	26.4	50.2	0.2

《参考》17年度調査	総数	言葉も内容も知っていた	言葉は知っていたが、内容は今回はじめて知った	言葉も内容も、今回はじめて知った	チラシを見たが、よくわからない	無回答
	100.0 (4,583)	31.7	20.4	39.4	6.5	2.0

(2) 成年後見制度の利用意向－性・年齢階級、子供の有無別

「利用したいと思わない」の割合が最も高く、約5割

成年後見制度の利用意向を聞いたところ、「利用したい」8.3%、「利用したいと思わない」48.4%、「既に利用している」0.3%、「わからない」37.6%となっている。(表5-2)

子供の有無別に見ると、「利用したい」の割合が、子供がいる人は7.2%であるのに対し、子供がいない人は15.8%と、子供がいない人の方が、8.6ポイント高くなっている。

表5-2 成年後見制度の利用意向－性・年齢階級、子供の有無別

		総数	利用したい	利用したいと思わない	既に利用している	わからない	無回答
総数		100.0 (4,767)	8.3	48.4	0.3	37.6	5.4
性別	男	100.0 (2,057)	9.5	46.3	0.0	39.6	4.6
	女	100.0 (2,710)	7.4	50.1	0.4	36.2	5.9
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	10.4	46.8	0.2	40.2	2.4
	75～84歳	100.0 (1,761)	6.0	52.1	0.4	35.7	5.8
	85歳以上	100.0 (465)	5.6	43.2	0.4	31.2	19.6
子供の有無別	子供がいる	100.0 (4,182)	7.2	50.3	0.2	36.7	5.5
	子供はいない	100.0 (584)	15.8	34.9	0.7	44.3	4.3
17年度調査		100.0	18.8	45.4	0.4	33.4	2.1

(3) 日常生活自立支援事業の認知度
－性・年齢階級、動作能力類型、日常生活自立支援事業の利用意向別

「知らない」の割合は、約5割

日常生活自立支援事業の認知度を聞いたところ、「知っている」が21.8%、「知らない」が49.9%であった。(表5-3)

「知っている」の割合は、年齢階級別に見ると65～74歳が24.0%、動作能力類型別に見ると、障害のない高齢者が25.7%で、それぞれ最も高くなっている。

表5-3 日常生活自立支援事業の認知度
－性・年齢階級、動作能力類型、日常生活自立支援事業の利用意向別

		総数	知っている	中身は知らないが、言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	21.8	22.9	49.9	5.5
性別	男	100.0 (2,057)	21.7	22.8	50.5	5.0
	女	100.0 (2,710)	21.8	23.0	49.4	5.8
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	24.0	25.4	47.9	2.7
	75～84歳	100.0 (1,761)	20.9	22.3	51.1	5.7
	85歳以上	100.0 (465)	12.7	11.6	56.3	19.4
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	10.5	13.0	40.4	36.2
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	17.0	23.0	54.7	5.3
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	17.6	25.2	53.4	3.7
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	25.7	23.4	49.4	1.6
日常生活自立支援事業の利用意向別	利用したい	100.0 (414)	34.3	29.2	36.5	－
	利用したいと思わない	100.0 (2,087)	30.3	24.7	45.0	－
	既に利用している	100.0 (5)	60.0	40.0	－	－
	わからない	100.0 (1,989)	13.0	22.6	64.2	0.2

《参考》17年度調査	総数	言葉も内容も知っていた	言葉は知っていたが、内容は今回はじめて知った	言葉も内容も、今回はじめて知った	チラシを見たが、よくわからない	無回答
	100.0 (4,583)	25.5	17.9	47.9	6.7	2.1

(4) 日常生活自立支援事業の利用意向－性・年齢階級、子供の有無別

「利用したいと思わない」の割合が最も高く、約4割

日常生活自立支援事業の利用意向を聞いたところ、「利用したい」8.7%、「利用したいと思わない」43.8%、「既に利用している」0.1%、「わからない」41.7%となっている。(表5-4)

子供の有無別に見ると、「利用したい」の割合が、子供がいる人は7.9%であるのに対し、子供がいない人は14.0%と、子供がいない人の方が、6.1ポイント高くなっている。

表5-4 日常生活自立支援事業の利用意向－性・年齢階級、子供の有無別

		総数	利用したい	利用したいと思わない	既に利用している	わからない	無回答
総数		100.0 (4,767)	8.7	43.8	0.1	41.7	5.7
性別	男	100.0 (2,057)	8.6	42.6	0.1	43.5	5.2
	女	100.0 (2,710)	8.7	44.7	0.1	40.4	6.1
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	10.7	41.7	0.0	44.5	3.0
	75～84歳	100.0 (1,761)	6.7	48.0	0.2	39.2	5.9
	85歳以上	100.0 (465)	5.2	38.9	0.2	35.9	19.8
子供の有無別	子供がいる	100.0 (4,182)	7.9	45.2	0.1	40.9	5.8
	子供はいない	100.0 (584)	14.0	33.6	－	47.4	5.0
17年度調査		100.0 (4,583)	21.9	41.7	0.4	33.8	2.1

第6章　住まい

1　住宅の状況

(1)　住宅の種類

「持家」の割合は、約8割

現在、住んでいる住宅の種類を聞いたところ、「持ち家（一戸建て）」の割合が最も高く61.1%、次いで「持ち家（分譲マンションなど）」17.3%となっている。

持家・借家別に見ると、「持家」が約8割(78.4%)、「借家・賃貸住宅等」が約2割(21.1%)となっている。

17年度調査と比較すると、「持ち家(一戸建て)」の割合は8.3ポイント低くなり、「持ち家（分譲マンションなど)」は、7.2ポイント高くなっている。(表6-1)

問　あなたが現在お住まいの住宅は、次のどれにあたりますか。

表6-1　住宅の種類

	総数	持家	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンションなど）	借家・賃貸住宅等	民間賃貸住宅	都・区市町村の公営賃貸住宅	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	借家（一戸建て）	高齢者向け住宅等	その他	無回答
22年度	100.0 (4,767)	78.4	61.1	17.3	21.1	8.6	5.2	5.5	1.3	0.5	0.3	0.2
17年度	100.0 (4,583)	79.5	69.4	10.1	19.2	9.0	7.9	1.2	1.2	0.5	0.6	0.2

（注）高齢者向け住宅等とは、シルバーピア、高齢者向け優良賃貸住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホームなどを指す。

(2) 住宅の種類－地域、年齢階級、世帯構成（世代別）別

「持家」の割合は、ひとり暮らしは約 6 割、三世代世帯では約 9 割

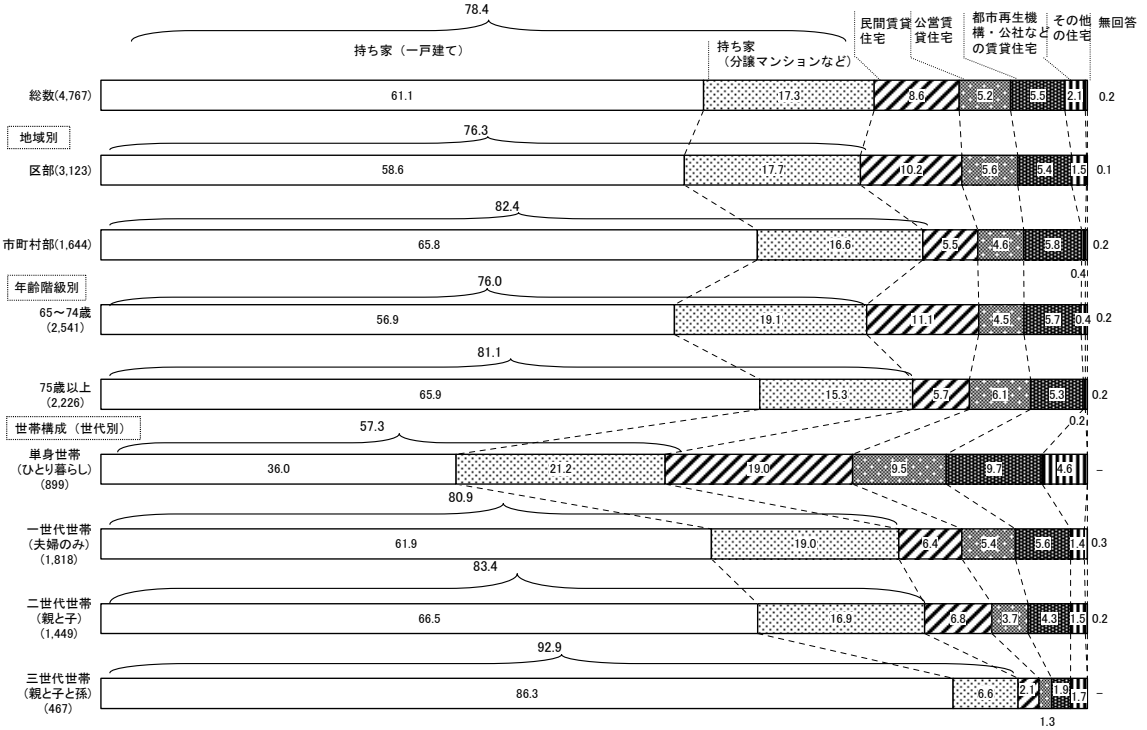
地域別に見ると、「持ち家（一戸建て）」の割合は、区部が 58.6%、市町村部が 65.8%で、市町村部の方が、7.2 ポイント高くなっている。

年齢階級別に見ると、「持ち家（一戸建て）」の割合は、65～74 歳が 56.9%、75 歳以上は 65.9%で、75 歳以上の方が高い割合となっている。一方、「持ち家（分譲マンションなど）」は、65～74 歳が 19.1%、75 歳以上は 15.3%で、65～74 歳の方が高い割合となっている。

世帯構成（世代別）で見ると、単身世帯（ひとり暮らし）では、「持ち家（一戸建て）」と「持ち家（分譲マンションなど）」を合わせた「持家」の割合は 57.3%で、他の世帯と比較して、20 ポイント以上低い割合になっている。

また、三世代世帯では、「持ち家（一戸建て）」と「持ち家（分譲マンションなど）」を合わせた「持家」の割合は 92.9%で 9 割を超えている。（図 6-1）

図 6-1 住宅の種類－地域、年齢階級、世帯構成（世代別）別



（注） 統計比率を合算した比率(81.1%、57.3%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳とは一致しない。

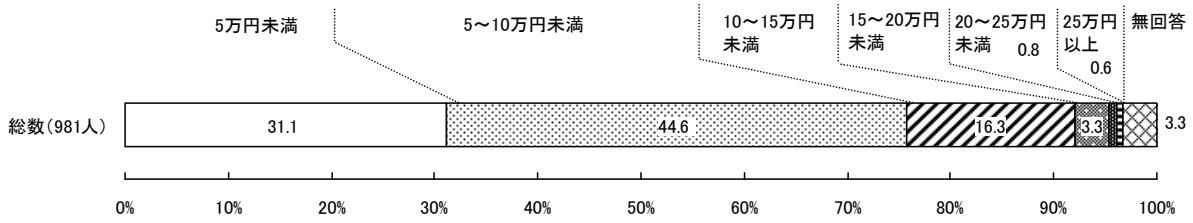
(3) 家賃

「5～10 万円未満」の割合が最も高く、44.6%

住宅の種類が、賃貸住宅と回答した人(981 人)に、月々の家賃について聞いたところ、「5～10 万円未満」の割合が最も高く 44.6%、次いで、「5 万円未満」が 31.1%であった。(図 6-2)

問　お住まいの月々の家賃（共益費を含む）を、教えてください。

図 6-2　家賃



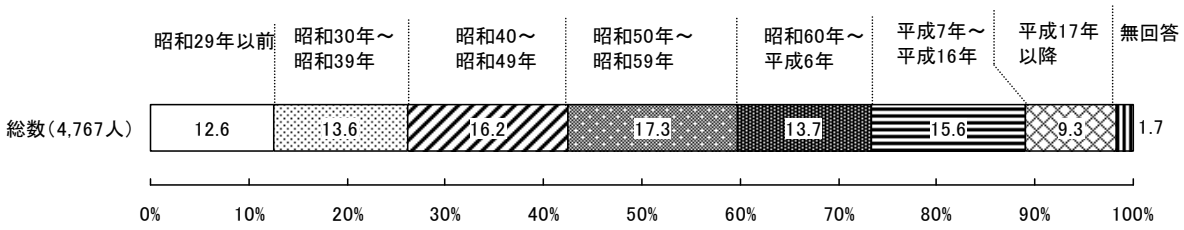
(4) 居住開始時期

「昭和 50 年～昭和 59 年」の割合が最も高く 17.3%

現在住んでいる住宅の居住開始時期を聞いたところ、「昭和 50 年～昭和 59 年」の割合が最も高く 17.3%、次いで「昭和 40 年～昭和 49 年」が 16.2%、「平成 7 年～平成 16 年」15.6%と続いている。(図 6-3)

問　あなたが現在のお住まいに住み始めたのは、いつですか。入居した住宅が建て替えられた場合には、建て替え以前の入居時期をお答えください。

図 6-3　居住開始時期



(5) 居住開始時期－年齢階級、世帯構成（世代別）、住宅の種類別

「平成 17 年以降」の割合は、単身世帯（ひとり暮らし）は 17.0%で、総数(9.3%)と比較して高くなっている

居住開始時期を世帯構成（世代別）で見ると、「平成 17 年以降」の割合は、単身世帯（ひとり暮らし）は 17.0%で、総数(9.3%)と比較して高くなっている。

住宅の種類別に見ると、持ち家（一戸建て）に住んでいる人は、「昭和 40 年～昭和 49 年」の割合が最も高く 20.9%、次いで「昭和 30 年～39 年」19.4%、「昭和 29 年以前」19.1%となっている。

一方、持ち家（分譲マンションなど）、民間賃貸住宅、都・区市町村の公営賃貸住宅、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅、借家（一戸建て）に住んでいる人は、「平成 7 年～16 年」の割合が最も高くなっている（23.3%～32.1%）（表 6-2）

表 6-2 居住開始時期－年齢階級、世帯構成(世代別)、住宅の種類別

		総数	昭和29年以前	昭和30年～39年	昭和40年～49年	昭和50年～59年	昭和60年～平成6年	平成7年～16年	平成17年以降	無回答
総数		100.0 (4,767)	12.6	13.6	16.2	17.3	13.7	15.6	9.3	1.7
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	7.6	9.0	16.9	20.4	16.4	18.0	9.9	1.7
	75歳以上	100.0 (2,226)	18.4	18.8	15.3	13.7	10.7	12.9	8.6	1.7
世帯構成（世代別）	単身世帯(ひとり暮らし)	100.0 (899)	10.7	9.8	11.8	14.5	17.5	17.2	17.0	1.6
	一世代世帯(夫婦のみ)	100.0 (1,818)	8.6	14.0	19.0	20.9	14.1	15.0	6.9	1.5
	二世代世帯(親と子)	100.0 (1,449)	15.1	13.4	16.6	16.8	13.4	15.9	7.0	1.7
	三世代世帯(親と子と孫)	100.0 (467)	21.6	18.8	12.2	12.8	7.7	14.3	10.3	2.1
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	19.1	19.4	20.9	17.8	10.1	8.2	3.0	1.5
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	3.1	3.8	9.8	22.4	19.2	26.5	14.4	0.7
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	2.7	2.5	5.6	6.6	20.8	32.1	27.7	2.0
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	1.2	12.0	7.6	12.4	18.9	24.1	18.5	5.2
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	1.1	1.5	10.6	19.3	20.5	27.7	18.2	1.1
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	5.0	8.3	15.0	15.0	21.7	23.3	11.7	－
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	－	－	－	－	3.8	15.4	76.9	3.8
	その他	100.0 (14)	14.3	14.3	7.1	7.1	－	21.4	21.4	14.3

(6) 住宅の広さ－住宅の種類別

持ち家（一戸建て）の人は、「80～100 ㎡未満」の割合が最も高く約 2 割、持ち家（分譲マンションなど）では、「60～80 ㎡未満」の割合が最も高く、5 割超

住宅の広さを聞いたところ、「60～80 ㎡未満」の割合が最も高く、22.4%となっている。

住宅の種類別に見ると、持ち家（一戸建て）の人は、「80～100 ㎡未満」の割合が最も高く 19.8%、次いで「60～80 ㎡未満」16.0%、「100～120 ㎡未満」14.8%となっている。

持ち家（分譲マンションなど）では、「60～80 ㎡未満」の割合が最も高く 48.8%で約 5 割となっている。

都・区市町村の公営賃貸住宅と都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅は、「40～60 ㎡未満」がそれぞれ 56.2%、56.1%で最も高く、5 割を超えている。（表 6-3）

問　現在のお住まいの広さは何㎡ですか。
※　庭やバルコニーの面積は除きます

表 6-3　住宅の広さ－住宅の種類別

	総数	20㎡未満	20～40㎡未満	40～60㎡未満	60～80㎡未満	80～100㎡未満	100～120㎡未満	120～140㎡未満	140～160㎡未満	160～180㎡未満	180～200㎡未満	200㎡以上	無回答
総数	100.0 (4,767)	1.3	7.2	16.8	22.4	15.8	9.7	8.6	5.2	2.9	2.0	4.1	4.2
持ち家（一戸建て）	100.0 (2,912)	0.3	2.1	7.2	16.0	19.8	14.8	13.5	8.2	4.5	3.1	6.5	3.9
持ち家（分譲マンションなど）	100.0 (826)	0.6	5.3	20.6	48.8	16.5	2.7	1.5	0.7	0.5	0.2	0.1	2.5
民間賃貸住宅	100.0 (408)	9.1	40.2	27.9	13.7	2.9	0.7	0.5	－	－	－	0.2	4.7
都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	0.4	16.5	56.2	20.1	0.4	－	0.4	－	－	－	－	6.0
都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	0.4	4.2	56.1	26.9	6.4	－	－	－	－	－	－	6.1
借家（一戸建て）	100.0 (60)	1.7	18.3	20.0	26.7	15.0	3.3	5.0	1.7	－	－	3.3	5.0
高齢者向け住宅等	100.0 (26)	23.1	38.5	15.4	11.5	3.8	－	－	－	－	－	－	7.7
その他	100.0 (14)	7.1	－	14.3	14.3	7.1	7.1	－	－	7.1	－	14.3	28.6

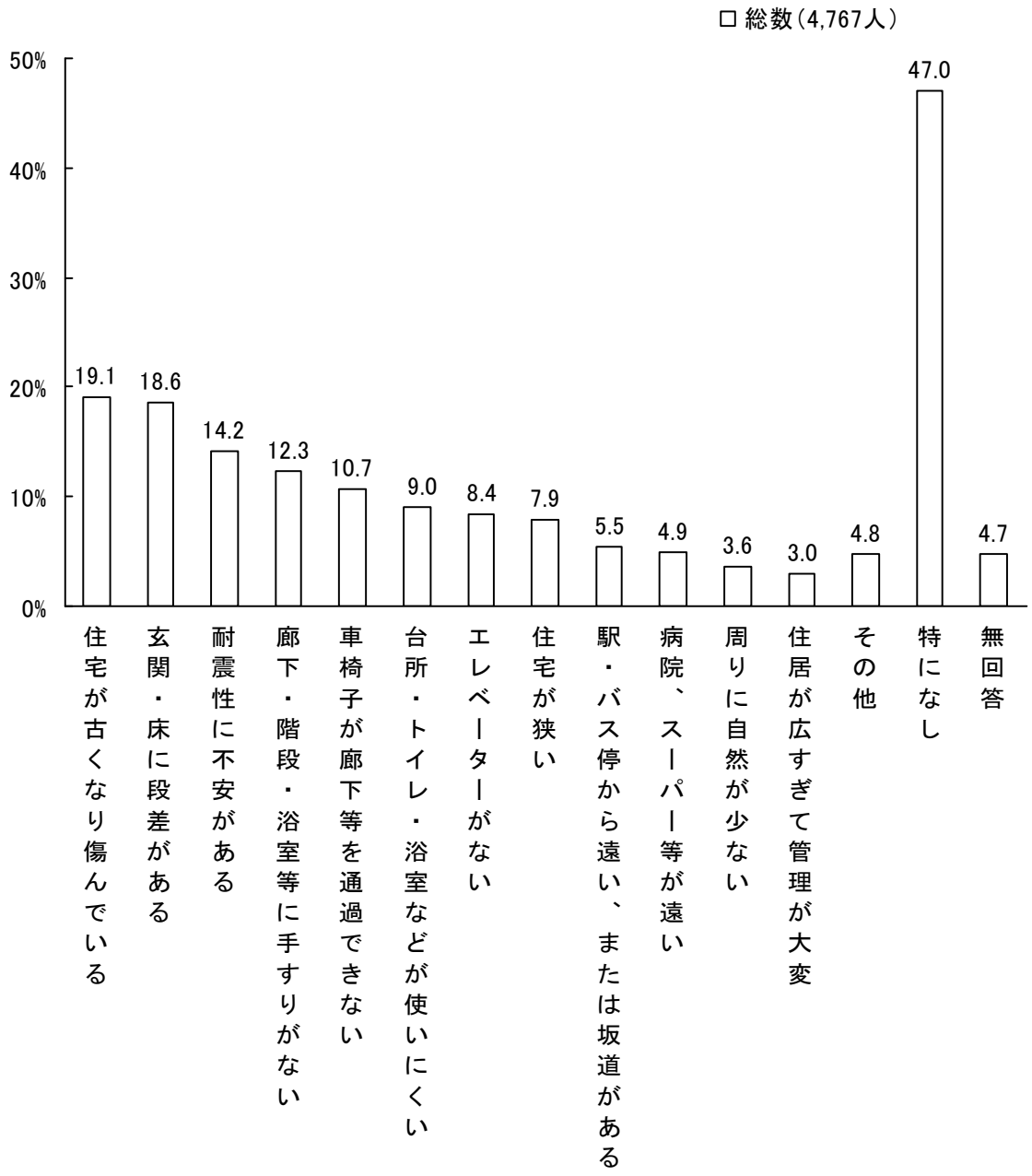
(7)　住まいで気になっているところ(複数回答)

「特になし」の割合が、約 5 割

住まいで気になっているところを聞いたところ、「特になし」の割合が最も高く、47.0%となっている。気になっているところでは、「住宅が古くなり傷んでいる」の割合が最も高く 19.1%、次いで、「玄関・床に段差がある」が 18.6%となっている。(図 6-4)

問　現在のお住まいで気になっているところはありますか。

図 6-4　住まいで気になっているところ（複数回答）



(8)　住まいで気になっているところ(複数回答)－年齢階級、動作能力類型、住宅の種類別

動作能力類型別に見ると、「特になし」を除いて、どの類型も「住宅が古くなり傷んでいる」、「玄関・床に段差がある」の割合が高い

住まいで気になっているところを動作能力類型別に見ると、「特になし」を除いて、どの類型も「住宅が古くなり傷んでいる」(15.2%～25.4%)、「玄関・床に段差がある」(15.6%～24.2%) の割合が高くなっている。

住宅の種類別に見ると、「特になし」を除いて、概ね、どの住宅も「住宅が古くなり傷んでいる」、「玄関・床に段差がある」の割合が高くなっている。一方で「特になし」の割合は、持ち家 (分譲マンションなど) の割合が 56.2%で、他の住宅に比べて高くなっている。(表 6-4)

表 6-4　住まいで気になっているところ（複数回答）－年齢階級、動作能力類型、住宅の種類別

		総数	住宅が古くなり傷んでいる	住宅が狭い	住居が広すぎて管理が大変	台所・トイレ・浴室などが使いにくい	廊下・階段・浴室等に手すりがない	玄関・床に段差がある	車椅子が廊下等を通過できない	耐震性に不安がある	エレベーターがない	周りに自然が少ない	病院、スーパー等が遠い	駅・バス停から遠い、または坂道がある	その他	特になし	無回答
総数		100.0 (4,767)	19.1	7.9	3.0	9.0	12.3	18.6	10.7	14.2	8.4	3.6	4.9	5.5	4.8	47.0	4.7
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	21.7	9.9	2.7	9.5	13.6	19.6	11.5	16.1	9.1	3.8	5.3	6.0	5.2	46.6	2.0
	75歳以上	100.0 (2,226)	16.2	5.5	3.2	8.3	10.7	17.4	9.8	11.9	7.5	3.4	4.5	5.0	4.4	47.4	7.8
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	15.2	6.5	3.2	13.0	11.5	20.0	12.7	12.0	7.2	3.5	3.7	6.0	3.2	22.9	35.7
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	25.4	9.8	3.8	12.9	14.9	24.2	14.9	18.5	11.5	3.4	8.4	9.1	5.5	38.1	5.0
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	21.1	9.6	4.4	9.0	15.3	23.9	12.1	16.6	10.8	5.4	5.9	6.0	4.9	40.1	2.9
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	17.9	7.1	2.3	7.7	10.9	15.6	9.4	12.8	7.1	3.1	4.1	4.6	4.9	54.4	0.8
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	21.4	5.7	4.6	7.7	12.7	21.4	12.8	16.9	8.1	4.1	5.6	6.3	3.6	45.1	4.8
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	10.9	7.7	0.5	7.7	10.9	12.8	5.9	8.1	6.1	3.0	2.9	2.9	4.2	56.2	3.8
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	24.8	19.6	－	14.2	16.7	18.4	9.1	16.2	12.5	2.9	5.4	6.9	11.0	39.7	3.7
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	8.4	6.0	－	9.6	3.6	6.8	3.2	3.6	12.0	4.0	6.8	4.0	6.4	51.8	6.8
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	20.5	16.3	0.8	18.2	14.4	18.6	13.3	10.6	9.8	0.4	3.4	6.1	8.3	45.1	2.3
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	38.3	10.0	3.3	11.7	15.0	20.0	13.3	23.3	6.7	5.0	－	5.0	8.3	38.3	5.0
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	－	3.8	－	－	－	3.8	－	－	3.8	－	－	－	7.7	69.2	15.4
	その他	100.0 (14)	7.1	－	－	7.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	64.3	21.4

2　高齢者向け住宅の認知度

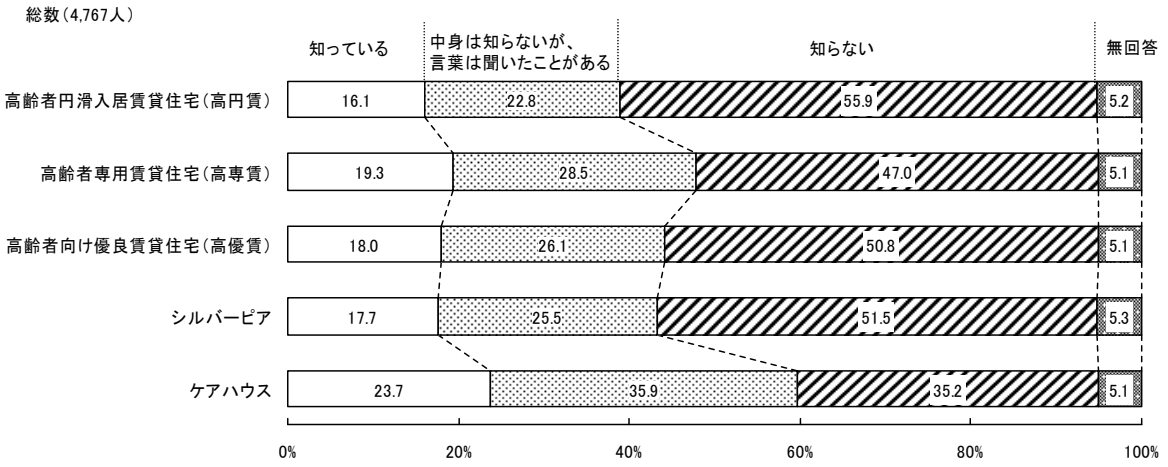
(1)　高齢者向け住宅の認知度

高齢者向け住宅を「知っている」割合は、それぞれ約 2 割

高齢者向け住宅について聞いたところ、「知っている」割合は、「高齢者円滑入居賃貸住宅（高円賃）」が 16.1%、「高齢者専用賃貸住宅（高専賃）」が 19.3%、「高齢者向け優良賃貸住宅（高優賃）」が 18.0%、「シルバーピア」が 17.7%、「ケアハウス」が 23.7%となっている。（図 6-5）

問　このアンケートに答えていただく前から、以下の項目について、内容をご存知ですか。

図 6-5　高齢者向け住宅の認知度



(2) 高齢者円滑入居賃貸住宅(高円賃)の認知度
－性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

「知っている」割合は、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅に住んでいる人が 22.0%、高齢者向け住宅等に住んでいる人が 34.6%

高齢者円滑入居賃貸住宅(高円賃)の認知度を年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて、「知っている」割合は、低くなっている（9.5%～17.5%)。

また、住宅の種類別に見ると、「知っている」割合は、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅に住んでいる人が 22.0%、高齢者向け住宅等に住んでいる人が 34.6%で、総数の割合(16.1%)より高くなっている。(表 6-5)

表 6-5 高齢者円滑入居賃貸住宅(高円賃)の認知度
－性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

		総数	知っている	中身は知らないが言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	16.1	22.8	55.9	5.2
性別	男	100.0 (2,057)	15.8	21.2	58.6	4.4
	女	100.0 (2,710)	16.4	23.9	53.9	5.7
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	17.5	23.7	56.4	2.4
	75～84歳	100.0 (1,761)	15.9	23.9	54.8	5.4
	85歳以上	100.0 (465)	9.5	13.3	58.1	19.1
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	16.2	22.5	56.1	5.2
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	14.9	25.4	55.2	4.5
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	16.4	22.8	55.9	4.9
	都･区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	12.0	18.1	63.1	6.8
	都市再生機構(旧公団)･公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	22.0	23.5	51.5	3.0
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	11.7	23.3	58.3	6.7
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	34.6	11.5	38.5	15.4
	その他	100.0 (14)	21.4	－	57.1	21.4
希望する高齢期の住まい別	現在の住宅にそのまま住み続けたい	100.0 (3,450)	16.7	23.8	58.9	0.6
	子供や親族の家に移りたい	100.0 (69)	15.9	33.3	50.7	－
	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	100.0 (114)	26.3	27.2	43.0	3.5
	健康なうちに、ケアハウスに入居する	100.0 (27)	25.9	11.1	55.6	7.4
	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	100.0 (45)	22.2	22.2	55.6	－
	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	100.0 (140)	17.9	26.4	55.0	0.7
	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	100.0 (226)	13.7	23.5	61.9	0.9
	その他	100.0 (59)	16.9	20.3	61.0	1.7
	分からない	100.0 (319)	18.2	23.5	58.0	0.3

(3) 高齢者専用賃貸住宅(高専賃)の認知度
ー性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

「知っている」割合は、健康なうちにシルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居を希望する人が 32.5%、健康なうちにケアハウスに入居を希望する人が 33.3%

高齢者専用賃貸住宅(高専賃)の認知度を年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて、「知っている」割合は、低くなっている (11.0%～21.4%)。

また、希望する高齢期の住まい別に見ると、「知っている」割合は、健康なうちにシルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居を希望する人が 32.5%、健康なうちにケアハウスに入居を希望する人が 33.3%で、3 割を超え、総数の割合(19.3%)より高くなっている。(表 6-6)

表 6-6 高齢者専用賃貸住宅(高専賃)の認知度
ー性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

		総数	知っている	中身は知らないが言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	19.3	28.5	47.0	5.1
性別	男	100.0 (2,057)	17.8	26.2	51.4	4.5
	女	100.0 (2,710)	20.4	30.3	43.7	5.6
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	21.4	30.5	45.6	2.5
	75～84歳	100.0 (1,761)	18.5	28.6	47.8	5.2
	85歳以上	100.0 (465)	11.0	17.6	51.8	19.6
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	19.7	28.3	46.7	5.3
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	18.5	31.5	45.6	4.4
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	19.9	26.0	50.0	4.2
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	12.9	25.7	54.2	7.2
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	22.0	29.5	45.5	3.0
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	11.7	36.7	45.0	6.7
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	46.2	11.5	26.9	15.4
	その他	100.0 (14)	21.4	－	57.1	21.4
希望する高齢期の住まい別	現在の住宅にそのまま住み続けたい	100.0 (3,450)	19.6	29.4	50.3	0.7
	子供や親族の家に移りたい	100.0 (69)	21.7	37.7	40.6	－
	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	100.0 (114)	32.5	33.3	32.5	1.8
	健康なうちに、ケアハウスに入居する	100.0 (27)	33.3	25.9	40.7	－
	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	100.0 (45)	22.2	28.9	48.9	－
	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	100.0 (140)	22.1	35.7	41.4	0.7
	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	100.0 (226)	19.9	31.4	47.3	1.3
	その他	100.0 (59)	25.4	23.7	49.2	1.7
	分からない	100.0 (319)	20.4	28.8	50.8	－

(4) 高齢者向け優良賃貸住宅(高優賃)の認知度
ー性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

「知っている」割合は、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅に住んでいる人が 26.1%、高齢者向け住宅等に住んでいる人が 42.3%

高齢者向け優良賃貸住宅(高優賃)の認知度を年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて、「知っている」割合は、低くなっている（9.9%～20.3%）。

また、住宅の種類別に見ると、「知っている」割合は、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅に住んでいる人が 26.1%、高齢者向け住宅等に住んでいる人が 42.3%で、総数の割合(18.0%)より高くなっている。(表 6-7)

表 6-7 高齢者向け優良賃貸住宅(高優賃)の認知度
ー性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

		総数	知っている	中身は知らないが言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	18.0	26.1	50.8	5.1
性別	男	100.0 (2,057)	17.2	24.1	54.3	4.4
	女	100.0 (2,710)	18.7	27.7	48.1	5.5
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	20.3	27.8	49.4	2.4
	75～84歳	100.0 (1,761)	16.9	26.3	51.7	5.2
	85歳以上	100.0 (465)	9.9	16.3	54.6	19.1
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	18.1	25.4	51.3	5.1
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	16.1	30.3	49.5	4.1
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	17.9	25.0	52.7	4.4
	都･区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	14.1	24.1	54.6	7.2
	都市再生機構(旧公団)･公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	26.1	26.5	44.3	3.0
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	11.7	26.7	55.0	6.7
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	42.3	19.2	23.1	15.4
	その他	100.0 (14)	21.4	－	57.1	21.4
希望する高齢期の住まい別	現在の住宅にそのまま住み続けたい	100.0 (3,450)	18.5	26.9	53.9	0.6
	子供や親族の家に移りたい	100.0 (69)	20.3	36.2	43.5	－
	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	100.0 (114)	26.3	31.6	39.5	2.6
	健康なうちに、ケアハウスに入居する	100.0 (27)	33.3	14.8	44.4	7.4
	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	100.0 (45)	20.0	28.9	51.1	－
	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	100.0 (140)	20.7	32.1	46.4	0.7
	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	100.0 (226)	19.0	29.2	51.3	0.4
	その他	100.0 (59)	20.3	27.1	50.8	1.7
	分からない	100.0 (319)	18.8	27.0	54.2	－

(5)　シルバーピアの認知度－性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

「知っている」割合は、健康なうちにシルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居を希望する人が 31.6%、健康なうちにケアハウスに入居を希望する人が 29.6%

シルバーピアの認知度を年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて、「知っている」割合は、低くなっている（8.2%～20.0%）。

希望する高齢期の住まい別に見ると、「知っている」割合は、健康なうちにシルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居を希望する人が 31.6%、健康なうちにケアハウスに入居を希望する人が 29.6%で、総数の割合(17.7%)より高くなっている。(表 6-8)

表 6-8　シルバーピアの認知度－性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

		総数	知っている	中身は知らないが言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	17.7	25.5	51.5	5.3
性別	男	100.0 (2,057)	16.5	23.2	55.6	4.7
	女	100.0 (2,710)	18.7	27.2	48.3	5.8
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	20.0	27.2	50.2	2.7
	75～84歳	100.0 (1,761)	17.1	25.3	52.2	5.3
	85歳以上	100.0 (465)	8.2	16.6	55.7	19.6
住宅の種類別	持ち家（一戸建て）	100.0 (2,912)	16.8	24.4	53.5	5.3
	持ち家（分譲マンションなど）	100.0 (826)	17.6	30.1	47.7	4.6
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	22.5	24.0	49.0	4.4
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	16.1	26.9	49.4	7.6
	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	22.3	24.6	49.6	3.4
	借家（一戸建て）	100.0 (60)	18.3	31.7	43.3	6.7
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	23.1	7.7	53.8	15.4
	その他	100.0 (14)	21.4	7.1	50.0	21.4
希望する高齢期の住まい別	現在の住宅にそのまま住み続けたい	100.0 (3,450)	17.7	26.3	55.3	0.7
	子供や親族の家に移りたい	100.0 (69)	21.7	26.1	52.2	－
	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	100.0 (114)	31.6	31.6	34.2	2.6
	健康なうちに、ケアハウスに入居する	100.0 (27)	29.6	18.5	48.1	3.7
	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	100.0 (45)	22.2	33.3	42.2	2.2
	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	100.0 (140)	20.0	26.4	51.4	2.1
	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	100.0 (226)	17.3	28.3	53.5	0.9
	その他	100.0 (59)	23.7	25.4	50.8	－
	分からない	100.0 (319)	22.3	26.6	50.8	0.3

(6) ケアハウスの認知度－性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

希望する高齢期の住まい別に見ると、ケアハウスを「知っている」割合は、健康なうちにケアハウスに入居を希望する人が約5割

希望する高齢期の住まい別に見ると、「知っている」割合は、子供や親族の家に移りたい(33.3%)、健康なうちにケアハウスに入居する(48.1%)、健康なうちに有料老人ホームに入居する(31.1%)、介護が必要になったら有料老人ホームなどに入居する(31.4%)が、それぞれ3割を超え、総数の割合(23.7%)より高くなっている。(表6-9)

表6-9 ケアハウスの認知度－性・年齢階級、住宅の種類、希望する高齢期の住まい別

		総数	知っている	中身は知らないが言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
総数		100.0 (4,767)	23.7	35.9	35.2	5.1
性別	男	100.0 (2,057)	21.9	34.3	39.3	4.5
	女	100.0 (2,710)	25.2	37.2	32.1	5.6
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	27.8	39.0	30.7	2.5
	75～84歳	100.0 (1,761)	21.4	35.1	38.4	5.1
	85歳以上	100.0 (465)	11.0	22.2	47.5	19.4
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	24.1	34.8	36.1	5.0
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	24.5	43.5	27.8	4.2
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	22.1	30.1	42.6	5.1
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	15.3	37.8	39.8	7.2
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	29.2	31.4	36.0	3.4
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	20.0	43.3	30.0	6.7
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	30.8	38.5	15.4	15.4
	その他	100.0 (14)	21.4	14.3	42.9	21.4
希望する高齢期の住まい別	現在の住宅にそのまま住み続けたい	100.0 (3,450)	24.1	37.4	38.1	0.5
	子供や親族の家に移りたい	100.0 (69)	33.3	36.2	30.4	－
	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	100.0 (114)	27.2	42.1	28.1	2.6
	健康なうちに、ケアハウスに入居する	100.0 (27)	48.1	18.5	25.9	7.4
	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	100.0 (45)	31.1	46.7	20.0	2.2
	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	100.0 (140)	31.4	41.4	25.0	2.1
	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	100.0 (226)	24.3	37.2	37.6	0.9
	その他	100.0 (59)	27.1	33.9	37.3	1.7
	分からない	100.0 (319)	24.5	38.2	37.3	－

3　希望する高齢期の住まい

(1)　希望する高齢期の住まい

「現在の住宅にそのまま住み続けたい」割合が最も高く、約７割

希望する高齢期の住まいについて聞いたところ、「現在の住宅にそのまま住み続けたい」の割合が最も高く 72.4%となっている。

「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」の割合は 11.6%となっている。(表 6-10)

問　あなたは、高齢期の住まいについて、どのようにしたいと思いますか。

表 6-10　希望する高齢期の住まい

	総数	在宅で暮らしたい	現在の住宅にそのまま住み続けたい	子供や親族の家に移りたい	高齢者用の住宅・施設に住み替えたい	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	健康なうちに、ケアハウスに入居する	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	その他	わからない	無回答
総数	100.0 (4,767)	73.8	72.4	1.4	11.6	2.4	0.6	0.9	2.9	4.7	1.2	6.7	6.7

(2)　希望する高齢期の住まい－性・年齢階級、世帯構成(世代別)、配偶者の有無別

世帯構成（世代別）で見ると、「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」の割合は、ひとり暮らしが最も高く、約2割

希望する高齢期の住まいについて、性別に見ると、「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」の割合は、男性9.9%、女性12.9%で、女性の方が高くなっている。

年齢階級別に見ると、「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」の割合は、年齢階級が上がるにつれて、低くなっている（6.5%～13.4%）。

世帯構成（世代別）で見ると、「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」の割合は、単身世帯（ひとり暮らし）が22.1%で、最も高くなっている。(表6-11)

表6-11　希望する高齢期の住まい－性・年齢階級、世帯構成(世代別)、配偶者の有無別

		総数	在宅で暮らしたい	現在の住宅にそのまま住み続けたい	子供や親族の家に移りたい	高齢者用の住宅・施設に住み替えたい	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	健康なうちに、ケアハウスに入居する	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	その他	分からない	無回答
総数		100.0 (4,767)	73.8	72.4	1.4	11.6	2.4	0.6	0.9	2.9	4.7	1.2	6.7	6.7
性別	男	100.0 (2,057)	75.2	74.0	1.2	9.9	1.9	0.5	1.0	2.5	4.0	1.7	6.8	6.5
	女	100.0 (2,710)	72.7	71.1	1.6	12.9	2.8	0.6	0.9	3.3	5.3	0.9	6.6	6.8
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	72.9	71.3	1.6	13.4	3.3	0.6	1.0	3.1	5.4	1.2	7.9	4.6
	75～84歳	100.0 (1,761)	76.7	75.3	1.4	10.3	1.5	0.6	1.1	3.0	4.1	1.3	5.5	6.2
	85歳以上	100.0 (465)	68.0	66.9	1.1	6.5	0.4	0.2	－	1.9	3.9	1.1	4.5	20.0
世代構成（世代別）	単身世帯（ひとり暮らし）	100.0 (899)	63.5	58.8	4.7	22.1	5.8	1.6	2.0	4.4	8.3	2.3	8.3	3.7
	一世代世帯（夫婦のみ）	100.0 (1,818)	75.9	75.2	0.7	9.8	2.1	0.4	1.0	2.8	3.5	1.3	6.7	6.2
	二世代世帯（親と子）	100.0 (1,449)	75.9	75.0	0.9	8.8	1.2	0.2	0.4	2.6	4.3	0.8	6.9	7.6
	三世代世帯（親と子と孫）	100.0 (467)	79.2	79.0	0.2	6.0	0.9	0.4	－	1.5	3.2	0.4	3.6	10.7
配偶者の有無別	配偶者あり	100.0 (3,039)	77.5	76.8	0.7	9.2	1.6	0.4	0.8	2.8	3.6	1.1	6.4	5.9
	配偶者なし	100.0 (1,716)	67.5	64.6	2.9	15.8	3.7	0.9	1.2	3.3	6.8	1.5	7.2	8.0
	未婚	100.0 (243)	58.0	56.4	1.6	22.6	4.9	0.8	2.5	5.3	9.1	3.3	9.9	6.2
	死別	100.0 (1,212)	72.4	69.7	2.6	12.0	2.1	0.3	1.1	2.9	5.7	1.2	5.4	9.0
	離別	100.0 (261)	53.6	48.7	5.0	26.8	10.3	3.4	0.4	3.1	9.6	1.1	13.0	5.4

(3) 希望する高齢期の住まい－住宅の種類別

民間賃貸住宅では、「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」割合が 3 割

希望する高齢期の住まいについて、住宅の種類別に見ると、持ち家(一戸建て)では、「現在の住宅にそのまま住み続けたい」の割合が 80.2%で、約 8 割となっている。

民間賃貸住宅では、「高齢者用の住宅・施設に住み替えたい」割合が 30.0%で、総数の割合（11.6%）より高くなっている。(表 6-12)

表 6-12 希望する高齢期の住まい－住宅の種類別

	総数	在宅で暮らしたい	現在の住宅にそのまま住み続けたい	子供や親族の家に移りたい	高齢者用の住宅・施設に住み替えたい	健康なうちに、シルバーピア、高齢者専用賃貸住宅などに入居する	健康なうちに、ケアハウスに入居する	健康なうちに、有料老人ホームに入居する	介護が必要になったら、有料老人ホームなどに入居する	介護が必要になったら、特別養護老人ホームなどに入居する	その他	分からない	無回答
総数	100.0 (4,767)	73.8	72.4	1.4	11.6	2.4	0.6	0.9	2.9	4.7	1.2	6.7	6.7
持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	80.7	80.2	0.4	8.0	0.8	0.2	0.5	3.0	3.6	0.5	4.2	6.7
持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	72.0	70.5	1.6	11.6	1.2	1.0	1.8	4.1	3.5	1.2	8.2	6.9
民間賃貸住宅	100.0 (408)	41.2	36.0	5.1	30.0	13.5	1.7	1.2	2.7	10.8	4.4	18.9	5.6
都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	74.3	73.1	1.2	11.2	2.0	0.8	－	0.8	7.6	2.0	5.6	6.8
都市機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	62.1	56.1	6.1	19.7	4.5	1.9	3.0	1.1	9.1	1.9	11.7	4.5
借家(一戸建て)	100.0 (60)	61.7	58.3	3.3	21.7	15.0	－	－	1.7	5.0	1.7	8.3	6.7
高齢者向け住宅等	100.0 (26)	46.2	42.3	3.8	11.5	3.8	－	7.7	－	－	19.2	7.7	15.4
その他	100.0 (14)	42.9	42.9	－	21.4	－	－	－	－	21.4	7.1	7.1	21.4

4　自宅以外(高齢者専用賃貸住宅等)の住まいに支出できる費用

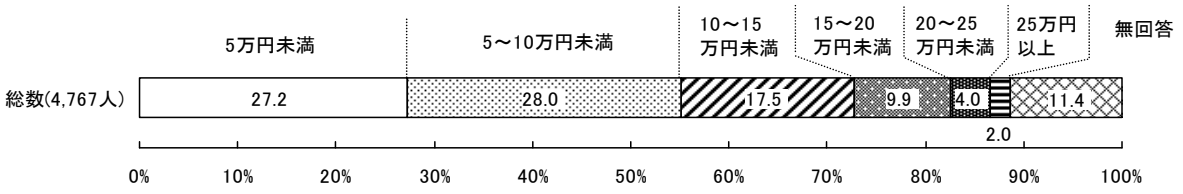
(1)　自宅以外（高齢者専用賃貸住宅等）の住まいに支出できる費用

「5～10 万円未満」、「5 万円未満」が、それぞれ約 3 割

将来、介護などの支援が必要となって、もし自宅以外に住むことになった場合、月々どの程度支出できるか聞いたところ、「5～10 万円未満」の割合が最も高く 28.0%、次いで「5 万円未満」が 27.2%となっている。(図 6-6)

問　あなたが、介護などの支援が必要となって、もし、自宅以外(高齢者専用賃貸住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等)に住むことになった場合、月々どの程度であれば、費用を支出することができますか。

図 6-6　自宅以外(高齢者専用賃貸住宅等)の住まいに支出できる費用



(2)　自宅以外(高齢者専用賃貸住宅等)の住まいに支出できる費用
―性・年齢階級、年収（夫婦）別

夫婦の年収が 200 万円未満では、「5 万円未満」の割合が最も高く 51.8%、700 万円以上では、「15～20 万円未満」が 23.0%で最も高くなっている

将来、介護などの支援が必要となって、もし自宅以外に住むことになった場合、月々どの程度支出できるか、年収（夫婦）別に見ると、夫婦の年収が 200 万円未満では、「5 万円未満」の割合が最も高く、51.8%となっている。夫婦の年収が 700 万円以上では、「15～20 万円未満」が最も高く、23.0%となっている。(表 6-13)

表 6-13　自宅以外(高齢者専用賃貸住宅等)の住まいに支出できる費用
―性・年齢階級、年収（夫婦）別

		総数	5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25万円以上	無回答
総数		100.0 (4,767)	27.2	28.0	17.5	9.9	4.0	2.0	11.4
性別	男	100.0 (2,057)	25.5	26.5	18.3	11.3	5.4	2.4	10.5
	女	100.0 (2,710)	28.5	29.1	16.9	8.7	3.0	1.6	12.1
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	30.1	30.4	17.6	9.2	4.1	1.5	7.0
	75～84歳	100.0 (1,761)	25.0	26.8	18.1	11.1	3.7	2.3	12.9
	85歳以上	100.0 (465)	20.0	19.4	14.8	8.6	4.7	3.2	29.2
年収（夫婦）別	200万円未満	100.0 (332)	51.8	31.0	7.5	2.1	0.3	0.3	6.9
	200万円以上500万円未満	100.0 (1,670)	26.3	36.0	20.3	9.3	3.1	0.6	4.4
	500万円以上700万円未満	100.0 (316)	16.8	25.6	24.7	16.5	7.9	2.8	5.7
	700万円以上	100.0 (335)	6.9	18.0	18.8	23.0	16.4	10.1	6.9

5　高齢者専用賃貸住宅（高専賃）

(1)　高齢者専用賃貸住宅（高専賃）

「入居したいとは思わない」の割合は、約 6 割

「高専賃」についてどのように思うか聞いたところ、「入居したいとは思わない」の割合が 62.9%、「関心はあるが、入居についてはわからない」が 22.4%、「関心があり、条件や内容によっては入居したい」が 9.6%となっている。(図 6-7)

「入居したいとは思わない」人（2,999 人）にその理由について聞いたところ、「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高く 67.6%、次いで「現在の住宅や土地を処分したくないから」が 39.0%となっている。(図 6-8)

問　高齢者の単身の方や夫婦世帯など、高齢者世帯の方のみが住むことができる「高齢者専用賃貸住宅」についてどのように思いますか。

問　あなたが入居したいと思わない理由は何ですか。

図 6-7　高専賃への入居意向

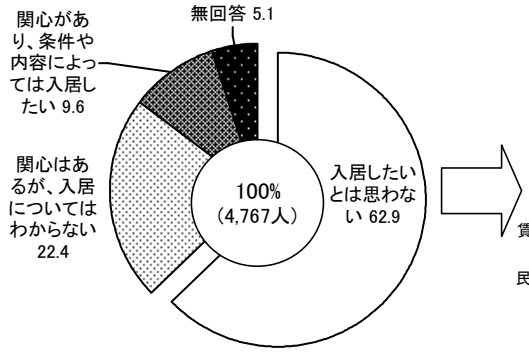
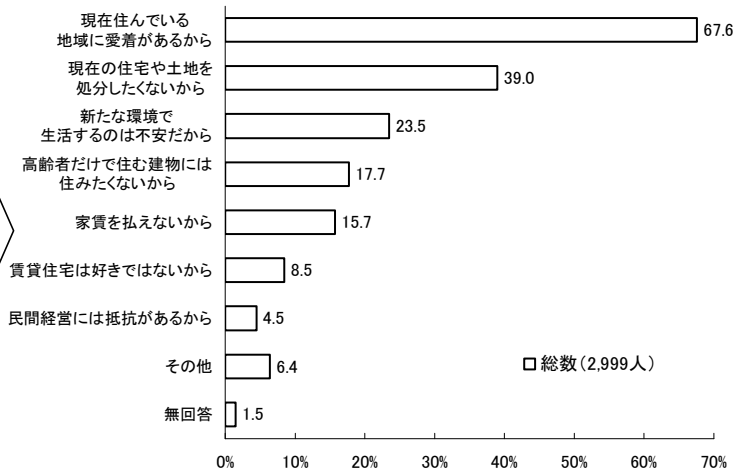


図 6-8　高専賃へ入居したくない理由（複数回答）



(2) 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）への入居意向－性・年齢階級、世帯類型別

「関心があり条件や内容によっては入居したい」の割合はひとり暮らしが最も高く、14.8%

高専賃への入居意向について、世帯類型別に見ると、「関心があり条件や内容によっては入居したい」割合は、ひとり暮らしでは 14.8%、高齢者のみでない世帯の夫婦のみ世帯が 12.8%で、それぞれ 1 割を超えている。(表 6-14)

表 6-14 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）への入居意向－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	関心があり、条件や内容によっては入居したい	関心はあるが、入居については わからない	入居したいとは思わない	無回答
総数		100.0 (4,767)	9.6	22.4	62.9	5.1
性別	男	100.0 (2,057)	9.2	21.3	65.0	4.5
	女	100.0 (2,710)	9.8	23.2	61.3	5.6
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	11.3	27.4	58.9	2.4
	75～84歳	100.0 (1,761)	8.0	18.3	68.4	5.3
	85歳以上	100.0 (465)	5.8	10.5	64.1	19.6
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,634)	11.2	23.5	61.4	3.9
	ひとり暮らし	100.0 (899)	14.8	21.6	61.1	2.6
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	9.3	25.1	61.8	3.8
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	9.7	17.7	58.9	13.7
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	7.4	20.9	65.2	6.5
	夫婦のみ世帯	100.0 (195)	12.8	28.7	54.9	3.6
	高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (1,213)	7.7	22.6	65.0	4.7
	高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (166)	5.4	18.7	63.9	12.0
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (81)	4.9	14.8	67.9	12.3
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (358)	4.5	13.4	71.8	10.3
	その他の世帯	100.0 (84)	9.5	25.0	59.5	6.0

(3) 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）への入居意向－住宅の種類、年収（夫婦）別

「関心があり、条件や内容によっては入居したい」割合は、民間賃貸住宅に住んでいる人は 25.5%、借家(一戸建て)では 21.7%

高専賃への入居意向について、住宅の種類別に見ると、「関心があり、条件や内容によっては入居したい」割合は、民間賃貸住宅に住んでいる人は 25.5%、借家(一戸建て)では 21.7%で、それぞれ 2 割を超えている。

年収（夫婦）別に見ると、「関心があり条件や内容によっては入居したい」割合は、200 万円未満の人は 10.8%、200 万円以上 500 万円未満の人は 10.5%で、それぞれ 1 割を超えている。(表 6-15)

表 6-15　高齢者専用賃貸住宅（高専賃）への入居意向－住宅の種類、年収（夫婦）別

		総数	関心があり、条件や内容によっては入居したい	関心はあるが、入居については分からない	入居したいとは思わない	無回答
総数		100.0 (4,767)	9.6	22.4	62.9	5.1
住宅の種類別	持ち家(一戸建て)	100.0 (2,912)	6.0	20.0	68.7	5.3
	持ち家(分譲マンションなど)	100.0 (826)	10.3	27.8	57.9	4.0
	民間賃貸住宅	100.0 (408)	25.5	30.4	40.0	4.2
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (249)	7.6	14.9	70.7	6.8
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (264)	19.7	28.4	49.6	2.3
	借家(一戸建て)	100.0 (60)	21.7	30.0	43.3	5.0
	高齢者向け住宅等	100.0 (26)	19.2	3.8	53.8	23.1
	その他	100.0 (14)	14.3	7.1	57.1	21.4
年収（夫婦）別	200万円未満	100.0 (332)	10.8	25.0	63.0	1.2
	200万円以上 500万円未満	100.0 (1,670)	10.5	26.0	62.5	1.0
	500万円以上 700万円未満	100.0 (316)	6.6	26.6	66.5	0.3
	700万円以上	100.0 (335)	6.3	23.6	68.7	1.5

(4) 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）へ入居したくない理由（複数回答）
－性・年齢階級、世帯類型別

どの年齢階級、どの世帯類型も「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高くなっている

高専賃に入居したいとは思わない人（2,999 人）の高専賃へ入居したくない理由については、年齢階級別に見ると、どの年齢階級も、「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高くなっており（64.6%～74.5%）、年齢階級が上がるにつれて、割合も高くなっている。

世帯類型別に見ると、どの世帯類型であっても「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高くなっている（61.2%～76.0%）。（表 6-16）

表 6-16 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）へ入居したくない理由（複数回答）
－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の住宅や土地を処分したくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	家賃を払えないから	賃貸住宅は好きではないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	民間経営には抵抗があるから	その他	無回答
総数		100.0 (2,999)	67.6	39.0	23.5	15.7	8.5	17.7	4.5	6.4	1.5
性別	男	100.0 (1,337)	67.8	41.7	20.9	15.1	8.6	19.4	5.9	5.5	1.6
	女	100.0 (1,662)	67.4	36.8	25.6	16.2	8.4	16.4	3.4	7.0	1.3
年齢階級別	65～74歳	100.0 (1,497)	64.6	38.8	21.6	18.2	9.6	21.3	5.3	6.2	1.4
	75～84歳	100.0 (1,204)	69.6	39.8	25.7	13.8	8.4	15.2	4.0	6.2	1.5
	85歳以上	100.0 (298)	74.5	36.6	24.8	10.7	3.7	10.1	3.0	7.7	1.7
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (1,617)	66.0	36.1	23.6	15.5	8.3	19.2	5.6	6.7	1.1
	ひとり暮らし	100.0 (549)	61.2	26.0	19.7	18.8	5.8	18.0	4.4	10.6	0.9
	高齢者夫婦のみ	100.0 (995)	68.7	42.0	24.9	13.1	9.7	20.0	6.1	4.9	1.0
	その他の高齢者のみ	100.0 (73)	64.4	31.5	34.2	23.3	6.8	17.8	8.2	1.4	4.1
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,313)	69.2	42.2	23.7	16.1	8.9	16.1	3.1	6.0	1.8
	その他の世帯	100.0 (50)	76.0	50.0	22.0	12.0	6.0	16.0	8.0	8.0	4.0

(5) 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）へ入居したくない理由（複数回答）
－住宅の種類、年収（夫婦）別

どの年収区分においても、「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高くなっている

高専賃へ入居したくない理由について、住宅の種類別に見ると、民間賃貸住宅、高齢者向け住宅等に住んでいる人を除き、「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高くなっている(51.1%～74.0%)。

「家賃を払えないから」の割合は、民間賃貸住宅に住んでいる人では 38.7%、都・区市町村の公営賃貸住宅に住んでいる人では 38.1%で、総数の割合（15.7%）と比較して高くなっている。

年収（夫婦）別に見ると、どの年収区分においても、「現在住んでいる地域に愛着があるから」の割合が最も高くなっている（61.7%～71.0%）。

「家賃を払えないから」の割合は、年収 200 万円未満の人は 30.6%で、他の年収区分と比べて高くなっている。

また、「高齢者だけで住む建物には住みたくないから」の割合が、年収 500 万円以上 700 万円未満の人は 26.7%、700 万円以上の人は 27.4%で、500 万円未満の人と比較して高い割合になっている。（表 6-17）

表 6-17 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）へ入居したくない理由（複数回答）
－住宅の種類、年収（夫婦）別

		総数	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の住宅や土地を処分したくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	家賃を払えないから	賃貸住宅は好きではないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	民間経営には抵抗があるから	その他	無回答
総数		100.0 (2,999)	67.6	39.0	23.5	15.7	8.5	17.7	4.5	6.4	1.5
住宅の種類別	持ち家（一戸建て）	100.0 (2,000)	74.0	48.1	23.9	12.0	10.0	15.9	4.5	4.2	1.7
	持ち家（分譲マンションなど）	100.0 (478)	61.5	41.0	27.6	12.6	11.1	21.8	4.4	8.6	0.8
	民間賃貸住宅	100.0 (163)	36.2	3.1	20.2	38.7	0.6	20.9	4.3	14.7	0.6
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (176)	58.5	－	18.2	38.1	0.6	16.5	6.3	7.4	1.1
	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	100.0 (131)	51.1	1.5	16.0	27.5	－	32.8	5.3	7.6	1.5
	借家（一戸建て）	100.0 (26)	65.4	3.8	23.1	15.4	－	19.2	3.8	11.5	3.8
	高齢者向け住宅等	100.0 (14)	14.3	－	－	－	－	－	－	85.7	－
年収（夫婦）別	200万円未満	100.0 (209)	61.7	38.3	22.5	30.6	6.2	12.4	1.9	5.3	1.4
	200万円以上 500万円未満	100.0 (1,043)	70.5	44.4	24.2	15.8	9.4	18.9	5.2	4.4	1.6
	500万円以上 700万円未満	100.0 (210)	71.0	46.2	29.0	7.6	13.8	26.7	9.5	3.8	1.4
	700万円以上	100.0 (230)	67.8	44.3	25.2	3.0	12.6	27.4	5.2	7.0	0.9

（注）住宅の種類のうち、その他については、母集団が 8 人のため省略した。

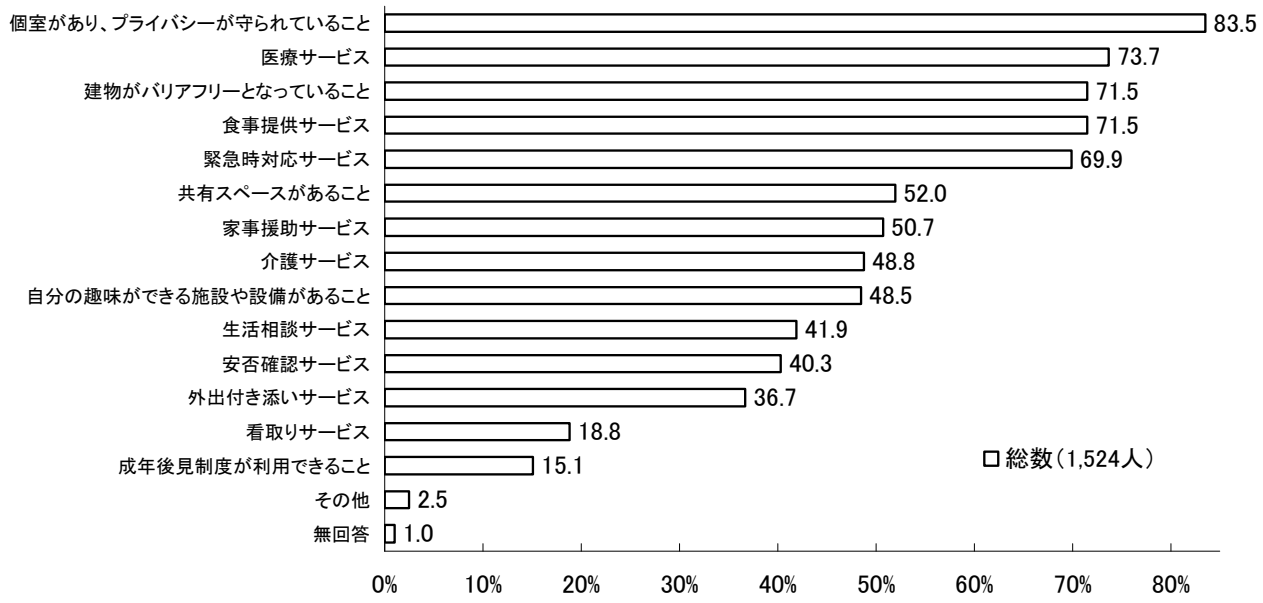
(6)　高齢者専用賃貸住宅（高専賃）に望むサービス（複数回答）

「個室があり、プライバシーが守られていること」の割合が最も高く、約 8 割

「関心があり条件や内容によっては入居したい」と、「関心はあるが入居についてはわからない」を合わせた人（1,524 人）に、高専賃に望むサービスを聞いたところ、「個室があり、プライバシーが守られていること」の割合が最も高く 83.5%、次いで、「医療サービス」73.7%、「建物がバリアフリーとなっていること」71.5%、「食事提供サービス」71.5%となっている。（図 6-9）

問　あなたが高齢者専用賃貸住宅に入居する場合、あったら安心・便利だと思うサービスはなんですか。

図 6-9　高齢者専用賃貸住宅（高専賃）に望むサービス（複数回答）



(7) 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）に望むサービス（複数回答）－性・年齢階級別

男女及びどの年齢階級でも、「個室があり、プライバシーが守られていること」の割合が最も高くなっている

高専賃に望むサービスについて、性・年齢階級別に見ると、男女及びどの年齢階級でも、「個室があり、プライバシーが守られていること」の割合が最も高く（78.9%～85.6%）、次いで「医療サービス」（72.9%～76.3%）となっている。（表 6-18）

表 6-18 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）に望むサービス（複数回答）－性・年齢階級別

		総数	建物がバリアフリーとなっていること	共有スペースがあること	個室があり、プライバシーが守られていること	自分の趣味ができる施設や設備があること	緊急時対応サービス	安否確認サービス	生活相談サービス	食事提供サービス	家事援助サービス	外出付き添いサービス	医療サービス	介護サービス	成年後見制度が利用できること	看取りサービス	その他	無回答
総数		100.0 (1,524)	71.5	52.0	83.5	48.5	69.9	40.3	41.9	71.5	50.7	36.7	73.7	48.8	15.1	18.8	2.5	1.0
性別	男	100.0 (628)	70.5	52.2	81.8	48.4	68.9	40.1	43.2	70.9	48.6	35.8	73.6	49.7	16.7	19.9	3.2	1.0
	女	100.0 (896)	72.2	51.8	84.6	48.5	70.5	40.4	41.1	72.0	52.2	37.4	73.8	48.1	14.0	18.1	2.0	1.0
年齢階級別	65～74歳	100.0 (984)	70.2	51.2	82.8	48.9	68.6	38.3	41.6	70.6	49.2	37.1	72.9	48.8	16.7	20.0	2.5	0.7
	75～84歳	100.0 (464)	74.6	53.2	85.6	49.4	72.4	43.8	43.1	73.1	54.1	36.2	75.0	48.1	12.7	16.6	2.6	1.3
	85歳以上	100.0 (76)	69.7	53.9	78.9	38.2	71.1	44.7	39.5	73.7	50.0	35.5	76.3	52.6	9.2	18.4	1.3	2.6